きのこを知る――微生物研究の最前線

森林総合研究所公開講演会

▼令和2年度

# 公開講演会動画配信のお知らせ

げての開催は中止といたしました。 今年は新型コロナウイルス感染症の 感染拡大防止のため、会場を借り上 公開講演会を開催してきましたが、 動画の配信を行いますので、是非ご 代わりに、講演の様子を撮影した 森林総合研究所では、 毎年10月に

開始を予定しております でお知らせいたします 視聴は無料です。11月上旬の配信 詳細は決まり次第、 ホームページ

きのこの機能性と食品としての価値

招待講演

https://www.ffpri.affrc.go.jp/

きのこそして微生物 江口 文陽 教授 東京農業大学地域環境科学部 ●一般講演 森林総合科学科学科長

と人との関わり その生き様

森林昆虫研究領域 きのこ・森林微生物研究領域 しいたけ害虫の総合防除

分解者や樹木の共生者として、森の

一方

きのこは、微生物の一つであり、

服部

の期待も高まっています。今回は、 済性の高いきのこの栽培技術開発へ さらに、マツタケやトリュフなど経 としても脚光を浴びてきています することが知られており、健康食品 大塚 祐 森林資源化学研究領域 燃料からプラスチック、 微生物を使って木から造る――ガス 郎

お酒まで

の過程

ダイバーシティを高めた状態での共

同作業がもたらす意識変容傾向とそ

いて、最新の研究成果を中心に紹介 わってきている「きのこ」の姿につ これら様々な形で、我々の生活に関

ストに及ぼす原料寸法および樹種の 木材のチップ化エネルギーおよびコ

吉田貴紘、 藤本清彦、 高野 勉 佐々木 達也、 伊神 裕司

塗装との相乗効果の検証 屋外用途における木材の保存処理と

原田寿郎、 大村 和香子、石川 敦子、伊藤 優子

五十嵐盟、 山口秋生、 知巴、 森田 珠生、須貝 与志明 大木 博成、 関澤 外喜夫 赤堀 裕一、手塚 大介 安井清一、

茂山

京大学と女子美術大学の合同演習に

山中湖村演習林を対象とした東

おける調査

範理、

横山 晋

齋藤 暖生、

下田倫子、 藤原

の菌床栽培での形態変化(英文) 村田仁、 **Y線で誘発したマツタケ突然変異体** 山中高史、下川知子、

宝川森林理水試験地観測報告

本流・初沢試験流域

清水貴範、 久保田 多余子、野口 正二、 (1991年1月~2000年12月) 良夫、玉井 幸治 清水晃、阿部俊夫、 細田 育広、村上 茂樹、

モーメント抵抗性能 広葉樹で補強した柱-貫接合部の

能との関係の把握 及び、貫材の横圧縮性能と接合部性 降伏以降の特性値算出法の提案

た、きのこには、様々な機能性を有 ことができるようになりました。ま

小長谷 啓介

きのこ・森林微生物研究領域 国産トリュフ――栽培に向けた試み

マイタケ

ホンセイヨウショウロ

シイタケを食害する害虫

メタン酵素実証装置

阿部 俊夫

では栽培技術の進展・普及にともな としても親しまれていましたが、今 古くより「森の恵み」、「秋の味覚」 生態系に欠かせない存在です。

北島

森林総合研究所研究報告

食材として何時でも手に入れる

稲山 延廣竜彦、 定山渓森林理水試験地観測報告 末定 拓時、宮本 康太、 (2013年1月~2017年12月) 正弘、青木 謙治 山野井 克己、溝口 康子 渋沢 龍也、

森林総合研究所研究報告▶

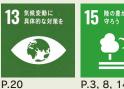
2020年8月

Vol.19 No.2 (通巻 454 号)

https://www.ffpri.affrc.go.jp/ pubs/bulletin/454/index.html



P.3, 8, 14, 16



P.3

P.3, 8, 14, 16, 18, 20



# ◀持続可能な開発目標 (SDGs)

森林総合研究所は、森林・林業・木 材産業等の幅広い研究を通して、国 連の持続的な開発目標(SDGs) 達成に積極的に貢献しています。 該当する目標と記事のページ数は、 左記の通りです。

イベント等の最新情報は こちらから→

https://www.ffpri.affrc go.jp/event/index.html

## お問い合わせ

森林総合研究所

企画部 広報普及科 広報係

029-829-8372 Emall kouho@ffpri.affrc.go.jp

P.3

19